



ゆづりは

堺市立図書館だより

第7巻 第1号 (通巻23号)
 発行日 平成24年 6月10日
 編集・発行 堺市立中央図書館
 〒590-0801 堺市堺区大仙中町18-1
 電話 072(244)3811
 Fax 072(244)3321
 URL <http://www.lib-sakai.jp/>

環境ブックフェア開催中

6月は環境月間です。中央図書館では子ども向けのブックフェア「地球のなかまたち」として、環境について知ることができる絵本や知識の本をたくさん展示しています。市内の各図書館でも環境ブックフェアを開催します。ここでいくつかの本をご紹介しますので、この機会にご利用ください。

『いわしくん』海を泳ぐいわしが、ぼくに食べられるまでを描いています。幼い子どもにも、命がめぐっていることがわかる絵本です。

『がぶりもぐもぐ』食物連鎖がテーマになっていて、次にどの動物に食べられるのか、考えながら楽しめます。

その他に、絵本では『ふようどのふよこちゃん』や『エコ育絵本ちきゅうのなかまたち』、『もったいないばあさん』などがあります。

節電には『エコ生活アイデアのコツのコツ』、『さがしてみようくらしの中のエコ』が参考になります。

『池上彰のニュースに登場する世界の環境問題』、『シリーズ鳥獣害を考える』は大人の方も楽しめる内容です。『きむらゆういちのエコ工作えほん』で工作を通してリサイクルを学んだり、『ねこさんかぞくのみどりのカーテン』にならってゴーヤでみどりのカーテンをつくってみるのもいいですね。

この夏はクールスポットとして図書館で少し涼みながら読書ライフをお過ごしください。

平成23年度、堺市で保有しているエコポイントを取りまとめ、図書カードに交換して、環境についての本の購入費用に活用しました。



目次

環境ブックフェア開催中	… 1
ビブリオバトル 開催のお知らせと部員募集	… 1
江戸からエコを学ぶ ～環境ブックフェア～	… 2
シリーズ堺の〇〇 人物 与謝野晶子 渡欧から100年	… 2
堺かるた いろはの「ね」	… 3
この本で解決！ ～仁徳天皇陵古墳あれこれ～	… 3
司書のイチ押し！ 『舟を編む』	… 4
西図書館の様子をご紹介します 堺図書館サポーター倶楽部の活動	… 4
堺市立図書館電話番号一覧	… 4

ゆづりは

とは・・・

中央図書館の正面玄関前に、堺生まれの詩人、河井醉茗氏の歌碑があります。

年ごとに
ゆづりゆづりて 譲り葉の
ゆづりしあとに また新しく

この歌にちなみ、年月を経て、世代を越えても、次々に新しい情報をお伝えできるように、堺市立図書館だよりに「ゆづりは」と名づけました。

次回ビブリオバトルは
6月17日(日)開催
テーマ「**挑戦**」

8月19日「大好き。」についても参加者を募集中です。ご興味ある方は図書館ホームページ(<http://www-lib-sakai.jp>)または、中央図書館まで、来館か電話(Tel.244-3811)にてお問い合わせください。

堺図書館ビブリオバトル倶楽部では、企画・運営に協力していただけるスタッフを募集中です。イベントが好き！本が好き！なあなた、一緒にイベントを盛り上げませんか？フライヤー(チラシ)や優勝賞品作成のお手伝い、写真撮影などをしていただけるクリエイターも募集しています。



部員募集中！

江戸からエコを学ぶ ～環境ブックフェア～

使い捨ての消費社会から「地球にやさしい」「エコロジー」という言葉で、4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）の取り組みが進められています。エコバッグを持ち歩き、ペットボトルから水筒に変えた人も多いことでしょう。今や時代はエコ。モノを多くもつことよりも、選び抜いたモノを長く大切に使うことが、上質で豊かな生活につながるのだという考え方が広がっています。

しかし、私たちよりも江戸時代の日本人の方が、実はとってもエコな生活をしていたのです。仕立てた着物は大切に使い、おさがりとして妹や弟へと渡し、長く着まわした後、小さな端切れになっても、お手玉となり、子どもたちの遊び道具に大変身する。これぞまさにリサイクル。しかも、それらが特別なことではなく、日常生活の一部であった江戸時代のシステムには、参考になることが多いのです。

『エコでござる—江戸に学ぶ』（全3巻）は児童書ですので、親子で一緒にエコについて考える時に、ぜひどうぞ。この本を参考にエコに取り組んでみるのはいかがですか？

シリーズ 堺の〇〇

人物

よ さ の あ き こ
与謝野晶子と お う
渡欧から 100 年

与謝野鉄幹がフランスのパリへと旅立ったのは明治44年（1911）、そして晶子がお後を追ってシベリア鉄道に乗り込んだのはその翌年の45年。ちょうど今から100年前のことです。

当時鉄幹は「明星」の終刊などにより精神的・経済的にも不安定な時期で、次第にフランスで文学の勉強をしたいという希望を持つようになりました。とはいえ、渡航には高額な費用が必要です。晶子は屏風に自身の歌を百首したため、それを頒布することにしました。当時財界で活躍していた小林一三らに、自ら手紙を送って支援を頼んでいます。鉄幹はこうした晶子の努力の甲斐あって、無事パリへ渡りました。

そのうち鉄幹から届く便りには、晶子の渡航を勧める文章が並び始め、晶子自身も行きたい

と願うようになります。明治45年5月、晶子はパリに入り、約5ヶ月を過ごしました。その間、パリ観光はもちろんのこと、イギリス・ベルギー・ドイツ・オーストリア等各地を旅行しています。彫刻家として有名なロダンを訪ね、知己を得ました。しかし、長い間子どもたちと離れていた晶子はホームシックになり、鉄幹を残して先に帰国しました。

滞在中のことを記した紀行文『巴里より』は鉄幹と晶子の連名で出版、大きな羽帽子をかぶった女性が印象的な美しい装丁です。またヨーロッパのことを詠んだ歌は歌集『夏より秋へ』に多く収められています。



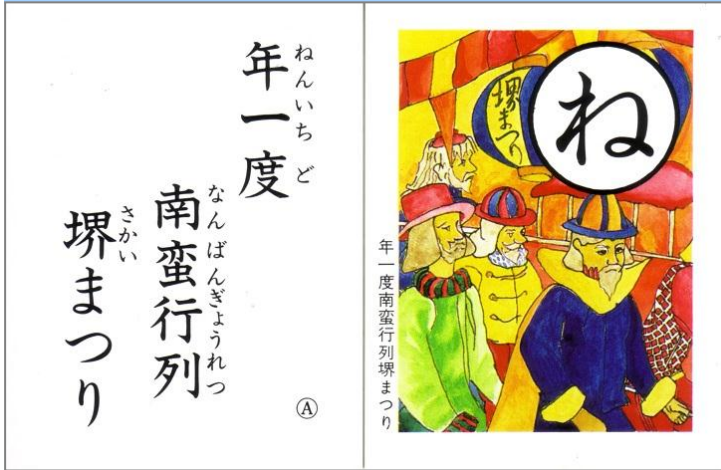
参考図書

『鉄幹晶子全集9』誠出版、2004（「夏より秋へ」所収）

『鉄幹晶子全集10』 勉誠出版、2003（「巴里より」所収）

画像：『巴里より』初版本表紙

堺かるた - いろはの「ね」
ねんいちど なんばんぎょうれつ さかい
「年一度 南蛮行列 堺まつり」



年一度の堺まつりは、昭和49年（1974）から毎年10月第3日曜日とその前日に開催しています。堺市民オリンピックと堺市農業祭と合わせて「堺三大まつり」とされていて、来場者数や規模の大きさから堺を代表するイベントとなっています。

堺まつりでは、なんばん船を模したフロート車が登場する大パレードがイベントの中心になっています。堺での異国の人を入れた行列の起源は古く、江戸時代初期に描かれた「住吉祭礼図屏風」（堺市博物館蔵）にも登場します。なお、「住吉祭礼図屏風」は、堺市役所1階に複製の陶板画が展示されています。

参考文献：『堺市博物館優品図録』『堺市博物館優品図録 第2集』（堺市博物館）

この本で解決！ ～仁徳天皇陵古墳あれこれ～

中央図書館から見ておよそ北東の方角に位置する、仁徳天皇陵古墳。子どもから大人まで、さまざまなお問い合わせがありますが、その中から3つをピックアップして紹介します。

Q. 小学校の宿題で仁徳天皇陵古墳を調べようと言われたが、参考資料はないか？

A. 『百舌鳥古墳群ガイドブック 古墳のなぜ？なに？』（堺市博物館）は、日ごろ博物館を訪れる皆さんから寄せられた質問や疑問をもとに作られており、小学生にも分かりやすく、古墳についての情報が説明されています。仁徳天皇陵古墳は、いろいろな呼称があり、教科書では大仙（仁徳陵）古墳と表記されています。図書館で検索する時には件名に「仁徳陵」または「古墳」が使えます。また、古代からの堺の歴史について幅広く知りたい方は、『むかしの堺』（堺児童文化振興会）や『歴史たんけん堺』（大阪歴史教育者協議会堺支部）も参考になります。

Q. 仁徳天皇陵古墳の東にある磐姫（いわのひめ）の万葉歌碑について知りたい。たしか、犬養孝氏の名前があったと思う。

A. 『犬養孝万葉歌碑』（野間教育研究所）に、平成7年5月25日の除幕式の様子などが掲載されています。歌碑には、「在りつつも 君をば待たむ うちなびく わが黒髪に 霜のおくまで」と刻まれています。この歌の意味については『万葉集』の巻2に収められています。

Q. 仁徳天皇陵古墳とその周辺の地形がわかる地図あるいは絵図で、できるだけ古いものはどんなものがあるか教えてほしい。

A. 仁徳天皇陵古墳が描かれた最も古い絵図は、元禄2年（1689年）の「堺大絵図」と言われています。しかし、この絵には周辺の地形が描かれていません。周辺まで含むもので古い絵図は、享保年間（1716～1735）に描かれたとされる『舳松領絵図』といえます。堺市博物館発行の『大王墓の時代 百舌鳥古墳群・よみがえる五世紀』（堺市博物館）に古墳の絵図が様々に紹介されています。

堺市ホームページでも古墳について見ることができます。

デジタル古墳百科

<http://www.city.sakai.lg.jp/kofun/index.html>

百舌鳥古墳群（堺市文化環境局世界文化遺産推進室）

http://www.city.sakai.lg.jp/city/_rekibun/mozu/index.html



堺市立中央図書館蔵「大仙陵絵図」（写）

享保年間（1716～1736）の絵図を、大正時代に「堺市史」編纂のために模写したものです。

「資料（点検）整理期間による

休館のお知らせ」

館内にある資料の点検や配置換えを行います。堺の他の図書館は開館しています。

初芝分館 6月20日（水）、21日（木）
中図書館 9月26日（水）～28日（金）

司書のイチ押し!

『舟を編む』 三浦しをん／著 光文社

この小説は、2012年本屋大賞第一位の本です。本屋大賞とは、本が売れない時代、読者を最もよく知る立場にいる書店員さんたちの投票で、一番売りたい本として選ばれる賞のことです。

内容は辞書編纂を軸とした人間模様です。辞書を作るのにどれだけの労力が必要であるか、1つ1つの言葉へのこだわりや追及に辞書編纂への情熱や執念が伝わってきて、辞書を改めて見直しました。登場人物は、辞書に魅入られ辞書に人生を捧げている、監修者の松本先生や、定年間近の荒木、律儀が行き過ぎてトンチンカンな馬締、軽薄そうで実は前

の3人のように1つのことにのめりこめないことに劣等感を抱いている西岡という個性的な面々が揃っています。馬締の恋も楽しく、西岡の、異動した後もみんなの情熱のために陰から辞書『大渡海』編纂をそれと見せず全力で支えるところなど、色々なドラマがこの『大渡海』に詰まっています。読んでいるうちにこの『大渡海』が実在しているように感じていきます。

作者の三浦しをんさんは多くの著作があり、2006年(平成18年)に『まほろ駅前多田便利軒』が直木賞を受賞され映画化、同年刊行の『風が強く吹いている』は漫画化、ラジオドラマ化、舞台化、映画化されています。(K)

西図書館の様子をご紹介します
「堺図書館サポーター倶楽部の活動」

西図書館では、堺図書館サポーター倶楽部のメンバーが、毎週、傷んだ本の修理をしています。ページが外れたり、破れている部分を、手作業で丁寧に修理するのは、簡単に見えてなかなか難しいことです。このようにして修理された本は、また図書館で活躍することができるのです。

ところで、西図書館入口の展示ケースのディスプレイをご紹介しますか?月ごとに、季節にふさわしい飾り付けになっています。これも堺図書館サポーター倶楽部のメンバーによるものです。小さなスペースが華やかになり、図書館を訪れる人の目を楽しませてくれています。

また、南図書館でも以前より同様の活動が行われていて、これまでのディスプレイの様子は、ホームページでご覧いただけます。



堺図書館サポーター倶楽部とは

図書館では、図書館について興味をお持ちの方、図書館で新しいことを発見したい方、そしてボランティアとして活動したい方を対象に、図書館サポーター養成講座を実施しています。

養成講座を修了され、サポーター登録された方が、堺図書館サポーター倶楽部として、書架整理や本の修理など図書館にかかわる活動を通して、図書館をサポートしてくださっています。

堺市立図書館電話番号一覧

音声応答サービス	280-0415	東図書館	235-1345	北図書館	258-6850
中央図書館	244-3811	初芝分館	286-0071	美原図書館	369-1166
くすのき号	244-3811	西図書館	271-2032	人権ふれあいセンター図書ホール	245-2534
堺市駅前分館	222-0140	南図書館	294-0123	青少年センター図書室	228-6331
中図書館	270-8140	榎分館	296-0025	ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp
東百舌鳥分館	234-9600	美木多分館	296-2111	携帯ホームページ URL	http://www.lib-sakai.jp/m/

